

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【公表番号】特表 2018-529631 (P2018-529631A)

【公表日】平成 30 年 10 月 11 日 (2018.10.11)

【年通号数】公開・登録公報 2018-039

【出願番号】特願 2017-568193 (P2017-568193)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/78 (2006.01)

A 6 1 K 31/045 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 Q 17/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/02 (2006.01)

A 0 1 P 1/00 (2006.01)

A 0 1 N 31/02 (2006.01)

A 0 1 N 25/10 (2006.01)

C 0 8 F 220/18 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/78

A 6 1 K 31/045

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/81

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 31/04

A 6 1 Q 17/00

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/02

A 0 1 P 1/00

A 0 1 N 31/02

A 0 1 N 25/10

C 0 8 F 220/18

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 17 日 (2019.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 2 0 】

このように、芽胞を取り除くための組成物の実施形態が開示される。上記の実装形態及び他の実装形態が、以下の請求項の範囲内にある。当業者であれば、本開示は開示されている実施形態以外の実施形態で実践できることを理解するであろう。開示される実施形態

は、限定ではなく例示を目的として提示されている。本発明の実施態様の一部を以下の項目 [1] - [3 9] に記載する。

[1]

a) 少なくとも約 8 5 重量 % のヒドロアルコール溶液であって、
前記ヒドロアルコール溶液の総重量に基づいて、少なくとも約 1 重量 % の水、及び
前記ヒドロアルコール溶液の総重量に基づいて、約 3 0 重量 % ~ 約 8 5 重量 % の少なくとも 1 種の $C_1 \sim C_4$ アルキルアルコールを含む、前記ヒドロアルコール溶液と、
b) 前記ヒドロアルコール溶液中に分散されたアクリレートコポリマー粒子であって、
前記アクリレートコポリマー粒子は反応混合物の反応生成物を含み、前記反応混合物はモノマーを含み、前記モノマーは、
約 5 重量 % ~ 約 5 0 重量 % の少なくとも 1 種の高 T g モノマー（ここで、前記高 T g モノマーの重量 % は、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に対するものである）、及び
約 2 0 重量 % ~ 約 8 0 重量 % の少なくとも 1 種の低 T g モノマー（ここで、前記低 T g モノマーの重量 % は、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に対するものである）を含む、前記アクリレートコポリマー粒子と、を含む組成物であって、
前記粒子は、少なくとも約 1 0 0 nm の数平均直径を有する、組成物。

[2]

前記反応混合物における重量で、前記少なくとも 1 種の低 T g モノマーは、前記少なくとも 1 種の高 T g モノマーよりも多く存在する、項目 1 に記載の組成物。

[3]

前記組成物中に、前記組成物の総重量に基づいて、約 5 重量 % 以下の前記アクリレートコポリマー粒子が存在する、項目 1 に記載の組成物。

[4]

前記組成物中に、前記組成物の総重量に基づいて、約 0 . 5 重量 % ~ 約 4 重量 % の前記アクリレートコポリマー粒子が存在する、項目 1 に記載の組成物。

[5]

前記組成物中に、前記組成物の総重量に基づいて、少なくとも約 6 0 重量 % の前記少なくとも 1 種のアルコールが存在する、項目 1 に記載の組成物。

[6]

前記アクリレートコポリマーは、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に基づいて、約 2 0 重量 % ~ 約 4 0 重量 % の前記少なくとも 1 種の高 T g モノマーの反応生成物である、項目 1 に記載の組成物。

[7]

前記アクリレートコポリマーは、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に基づいて、約 6 0 重量 % ~ 約 8 0 重量 % の前記少なくとも 1 種の低 T g モノマーの反応生成物である、項目 1 ~ 6 のいずれかに記載の組成物。

[8]

前記少なくとも 1 種の低 T g モノマーは、約 4 ~ 約 1 0 のアルキル炭素鎖長を有する、項目 1 に記載の組成物。

[9]

前記少なくとも 1 種の低 T g モノマーは、約 - 2 0 ~ 約 - 6 0 の T g を有する、項目 1 に記載の組成物。

[1 0]

前記少なくとも 1 種の高 T g モノマーは、約 1 ~ 約 3 の炭素鎖長を有する、項目 1 に記載の組成物。

[1 1]

前記少なくとも 1 種の高 T g モノマーは、約 4 0 ~ 約 1 5 0 の T g を有する、項目 1 に記載の組成物。

[1 2]

前記アクリレートコポリマー粒子は、約 200 ~ 約 500 nm の数平均直径を有する、
項目 1 に記載の組成物。

[13]

前記少なくとも 1 種の $C_1 \sim C_4$ アルコールは、エタノール、 n -プロパノール、2-
プロパノール、又はこれらの混合物から選択される、項目 1 に記載の組成物。

[14]

前記アルコールに加えて、抗菌剤を更に含む、項目 1 に記載の組成物。

[15]

前記抗菌剤はカチオン性である、項目 14 に記載の組成物。

[16]

組成物であって、

前記組成物の総重量に基づいて、少なくとも約 1 重量 % の水と、

前記組成物の総重量に基づいて、約 30 重量 % ~ 約 98 重量 % の少なくとも 1 種の C_1
~ C_4 アルキルアルコールと、

前記組成物の総重量に基づいて、約 5 重量 % 以下のアクリレートコポリマー粒子と、を
含む、前記アクリレートコポリマー粒子は前記水及びアルコール中に分散されており、前
記アクリレートコポリマー粒子は反応混合物の反応生成物を含み、前記反応混合物はモノ
マーを含み、前記モノマーは、

約 5 重量 % ~ 約 50 重量 % の少なくとも 1 種の高 Tg モノマー（ここで、前記少なくと
も 1 種の高 Tg モノマーの重量 % は、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に対する
ものである）、及び

約 20 重量 % ~ 約 80 重量 % の少なくとも 1 種の低 Tg モノマー（ここで、前記少なく
とも 1 種の低 Tg モノマーの重量 % は、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に対す
るものである）を含み、

前記粒子は、少なくとも 100 nm の数平均直径を有する、組成物。

[17]

表面から少なくとも 1 つの芽胞を除去する方法であって、

a) 前記表面を組成物と接触させることであって、前記組成物は、

前記組成物の総重量に基づいて、少なくとも約 60 重量 % の少なくとも 1 種の $C_1 \sim C_4$
アルキルアルコール、及び

前記アルコール中に分散されたアクリレートコポリマー粒子を含む、接触させることと
、

b) 前記組成物と接触した前記表面を、機械的作用に供することと、を含む、方法。

[18]

前記機械的作用の少なくとも一部は、前記組成物の一部が前記表面上に存在するときに
同時に行う、項目 17 に記載の方法。

[19]

前記表面を前記組成物と接触させる工程は、前記組成物を皮膚に適用することを含む、
項目 17 に記載の方法。

[20]

前記組成物を皮膚に適用する工程は、前記皮膚の表面への噴霧、分注、浸漬、注入、又
はこれらの何らかの組み合わせを含む、項目 19 に記載の方法。

[21]

前記表面を前記組成物と接触させる工程は、前記表面を、前記組成物であらかじめ処理
した物品と接触させることを含む、項目 17 に記載の方法。

[22]

前記機械的作用は少なくとも約 5 秒間持続させる、項目 17 に記載の方法。

[23]

前記組成物であらかじめ処理した前記物品は、拭き取り布、スポンジ、又はこれらの何
らかの組み合わせである、項目 21 に記載の方法。

[2 4]

前記組成物と接触した前記表面を、機械的作用に供する工程は、前記表面を擦ること、前記表面にわたって物品を動かすこと、又はこれらの何らかの組み合わせを含む、項目 1 7 に記載の方法。

[2 5]

前記少なくとも 1 つの芽胞は、前記アクリレートコポリマー粒子と会合する、項目 1 7 に記載の方法。

[2 6]

前記少なくとも 1 つの芽胞及び会合したアクリレートコポリマー粒子は、皮膚から取り除かれる、項目 2 5 に記載の方法。

[2 7]

前記組成物の少なくとも一部を、前記芽胞の少なくとも一部と共に前記表面から取り除くことを更に含む、項目 1 7 に記載の方法。

[2 8]

前記組成物は水を更に含む、項目 1 7 に記載の方法。

[2 9]

前記組成物中に、前記組成物の総重量に基づいて、約 5 重量 % 以下の前記アクリレートコポリマー粒子が存在する、項目 1 7 に記載の方法。

[3 0]

前記組成物中に、前記組成物の総重量に基づいて、少なくとも約 7 0 重量 % の前記少なくとも 1 種のアルコールが存在する、項目 1 7 に記載の方法。

[3 1]

前記アクリレートコポリマー粒子は、反応混合物の反応生成物を含み、前記反応混合物はモノマーを含み、前記モノマーは、

約 5 重量 % ~ 約 5 0 重量 % の少なくとも 1 種の高 T g モノマー（ここで、前記少なくとも 1 種の高 T g モノマーの重量 % は、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に対するものである）、及び

約 2 0 重量 % ~ 約 8 0 重量 % の少なくとも 1 種の低 T g モノマー（ここで、前記少なくとも 1 種の低 T g モノマーの重量 % は、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に対するものである）を含む、項目 1 7 に記載の方法。

[3 2]

前記反応混合物における重量に基づいて、前記少なくとも 1 種の低 T g モノマーは、前記少なくとも 1 種の高 T g モノマーよりも多く存在する、項目 3 1 に記載の方法。

[3 3]

表面から少なくとも 1 つの芽胞を取り除く方法であって、

前記表面を組成物と接触させることを含み、前記組成物は、

前記組成物の総重量に基づいて、少なくとも約 8 5 重量 % のヒドロアルコール溶液であって、

前記ヒドロアルコール溶液の重量に基づいて、少なくとも約 1 重量 % の水、及び

前記ヒドロアルコール溶液の総重量に基づいて、約 3 0 重量 % ~ 約 9 5 重量 % の少なくとも 1 種の C₁ ~ C₄ アルキルアルコールを含む、前記ヒドロアルコール溶液と、

前記ヒドロアルコール溶液中に分散されたアクリレートコポリマー粒子であって、前記アクリレートコポリマー粒子は反応混合物の反応生成物を含み、前記反応混合物はモノマーを含み、前記モノマーは、

約 5 重量 % ~ 約 5 0 重量 % の少なくとも 1 種の高 T g モノマー（ここで、前記少なくとも 1 種の高 T g モノマーの重量 % は、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に対するものである）、及び

約 2 0 w % ~ 約 8 0 重量 % の少なくとも 1 種の低 T g モノマー（ここで、前記少なくとも 1 種の低 T g モノマーの重量 % は、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に対するものである）を含む、前記アクリレートコポリマー粒子と、を含み、

前記アクリレートコポリマー粒子は、少なくとも約 100 nm の平均直径を有する、方法。

[3 4]

前記表面は前記組成物中に浸漬される、項目 3 3 に記載の方法。

[3 5]

前記組成物は前記表面に適用される、項目 3 3 に記載の方法。

[3 6]

前記組成物の少なくとも一部を取り除くことを更に含み、前記組成物の少なくとも一部を取り除くことは、前記表面から前記少なくとも 1 種の芽胞を取り除く、項目 3 3 に記載の方法。

[3 7]

前記組成物の少なくとも一部を取り除く工程は、機械的作用を含む、項目 3 6 に記載の方法。

[3 8]

前記機械的作用は、前記表面を擦ること、前記表面にわたって物品を動かすこと、又はこれらの何らかの組み合わせを含む、項目 3 7 に記載の方法。

[3 9]

前記表面は皮膚を含む、項目 3 3 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 少なくとも約 85 重量%のヒドロアルコール溶液であって、

前記ヒドロアルコール溶液の総重量に基づいて、少なくとも約 1 重量%の水、及び

前記ヒドロアルコール溶液の総重量に基づいて、約 30 重量%～約 85 重量%の少なくとも 1 種の C₁～C₄ アルキルアルコールを含む、前記ヒドロアルコール溶液と、

b) 前記ヒドロアルコール溶液中に分散されたアクリレートコポリマー粒子であって、前記アクリレートコポリマー粒子は反応混合物の反応生成物を含み、前記反応混合物はモノマーを含み、前記モノマーは、

約 5 重量%～約 50 重量%の少なくとも 1 種の高 T_g モノマー（ここで、前記高 T_g モノマーの重量%は、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に対するものである）、及び

約 20 重量%～約 80 重量%の少なくとも 1 種の低 T_g モノマー（ここで、前記低 T_g モノマーの重量%は、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に対するものである）を含む、前記アクリレートコポリマー粒子と、を含む組成物であって、

前記粒子は、少なくとも約 100 nm の数平均直径を有する、組成物。

【請求項 2】

前記組成物中に、前記組成物の総重量に基づいて、約 5 重量%以下の前記アクリレートコポリマー粒子が存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記アクリレートコポリマーは、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に基づいて、約 20 重量%～約 40 重量%の前記少なくとも 1 種の高 T_g モノマーの反応生成物である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記アクリレートコポリマーは、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に基づいて、約 60 重量%～約 80 重量%の前記少なくとも 1 種の低 T_g モノマーの反応生成物である、請求項 1～3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 種の低 T g モノマーは、約 4 ～ 約 1 0 のアルキル炭素鎖長を有し、前記少なくとも 1 種の高 T g モノマーは、約 1 ～ 約 3 の炭素鎖長を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 種の低 T g モノマーは、約 - 2 0 ～ 約 - 6 0 の T g を有し、前記少なくとも 1 種の高 T g モノマーは、約 4 0 ～ 約 1 5 0 の T g を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

組成物であって、

前記組成物の総重量に基づいて、少なくとも約 1 重量 % の水と、

前記組成物の総重量に基づいて、約 3 0 重量 % ～ 約 9 8 重量 % の少なくとも 1 種の C₁ ～ C₄ アルキルアルコールと、

前記組成物の総重量に基づいて、約 5 重量 % 以下のアクリレートコポリマー粒子と、を含み、前記アクリレートコポリマー粒子は前記水及びアルコール中に分散されており、前記アクリレートコポリマー粒子は反応混合物の反応生成物を含み、前記反応混合物はモノマーを含み、前記モノマーは、

約 5 重量 % ～ 約 5 0 重量 % の少なくとも 1 種の高 T g モノマー（ここで、前記少なくとも 1 種の高 T g モノマーの重量 % は、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に対するものである）、及び

約 2 0 重量 % ～ 約 8 0 重量 % の少なくとも 1 種の低 T g モノマー（ここで、前記少なくとも 1 種の低 T g モノマーの重量 % は、前記反応混合物中の前記モノマーの総重量に対するものである）を含み、

前記粒子は、少なくとも 1 0 0 n m の数平均直径を有する、組成物。

【請求項 8】

表面から少なくとも 1 つの芽胞を除去する方法であって、

a) 前記表面を組成物と接触させることであって、前記組成物は、

前記組成物の総重量に基づいて、少なくとも約 6 0 重量 % の少なくとも 1 種の C₁ ～ C₄ アルキルアルコール、及び

前記アルコール中に分散されたアクリレートコポリマー粒子を含む、接触させることと、

b) 前記組成物と接触した前記表面を、機械的作用に供することと、を含む、方法。

【請求項 9】

前記少なくとも 1 つの芽胞は、前記アクリレートコポリマー粒子と会合する、請求項 8 に記載の方法。